

第17弾

2018年5月18日(金)夜~20日(日)にかけて、11回目となる宮城県亶理郡山元町を訪問。
参加者総勢53名のうち、4030HDグループからは5名が参加しました。

初日、やまもと語り部の会様より、山元町の震災当時と現状についてお話し頂きました。
「日頃より防災について考える」「まずは自分の身を守る。その次に隣にいる方を守る」のが大切とのこと。
その後は、桑茶の原料となる桑の苗木600本の植替えを行いました。朝方まで雨が残っていた事もあり、畑では泥んことの格闘となりました。

二日目のふれあい交流会では、常磐線のアクシデントの中、お越し頂いた塚原姉妹の民謡と、暁星国際学園聖歌隊による合唱をお届けし、地元の約50名の方々と笑い・涙の交流ができました。
閉会後は、地元の方々手作りのヨモギ餅と宮城白石名物・温麺(ウーメン)をご馳走になり、ホッポリと、そしてお腹一杯での帰路となりました。大変お世話になりました！

見慣れた
旧山下駅前は、
海側から山へ続く
避難道路を増設中。



語り部さんの下、
中浜小学校へ。
防災への意識を
再確認。



桑の苗木の植替え



美味しい桑茶へ

ふれあい交流会にて

塚原姉妹の民謡



中高生の聖歌隊による合唱



ぎょうざ型のヨモギ餅&ウーメン

ご来場頂いた地元の皆様と。。

